

# 空 間

岩本 幸三

御影石，ステンレス



御影石





御影石, ステンレス



撮影 稲垣 智仁  
山本 正樹

御影石



## 空間

最近よく空間という言葉や文字に出会う。例えば私たちが日常生活しているところを生活空間とか、あるいは都会に出ればそこには多くの人が集まり巨大な建物があり、そこを都市空間と呼んだりする。また空間を巨視的に見れば私たちが住んでいる地球を含めた空間を宇宙空間という。しかし改めて空間とはと問われると漠然としたものに思えたりする。物理的には物と物との間ということか、そこには肉眼では見ることはできない人間の肌を感じとる意識の世界でもある。

屋外空間における芸術を考えると、彫刻は美術館や画廊というつくられた空間=場に展示する場合もあるが、もとより立体芸術である彫刻は当然のように周囲に空間をもって独立している。従って屋外の開かれた空間に設置されることはより効果的なものといえる。そして雨、水、風、光など自然現象を直接受けるということの他に都市空間を構成している建物、道路、広場など公共的空間における強い影響を受けたり、また逆にその空間に働きかけるという相互作用によって自立している。

最近都市空間に造形物を設置して都市を人間的、魅力的な創造的空間にしていこうとする機運は全国的に高まっているが、しかし古代社会において彫刻が日常生活の中まで溶けこんだ造形物として隆盛したように、果たして現代都市空間の中に積極的に位置付けすることができるのか注目しながら取り組んでいきたいと思う。